

福山の作業所に 袋とじ機を贈る

東京の松翁会

財団法人松翁会（東京都）は15日、福山市引野町南の作業所「ジョイ・ジョイ・ワーク引野」に自動袋とじ機を贈った。かりんとうの袋詰めに活用する。

松翁会の箱崎一彦事務局長（58）が作業所を訪れ、通所する田辺英晃さん（41）に目録を手渡した。作業所は、保命酒や特産のアンズなどを練り込んだかりんとうを月千〜2千袋製造している。

これまで使っていた自動袋とじ機は、たびたび故障していたという。作業所は松翁会の本年度の助成事業に応募。60万円の助成を受けた。田辺さんは「作業で困ることがなくなる」と喜んでいた。

松翁会は安田銀行（現みずほフィナンシャルグループ）の創設者安田善次郎の遺志を継ぎ設立された。福祉施設・事業への助成事業を続けている。

2010年12月16日
中国新聞

福祉事業所に 財団法人助成

「機械購入費に」

福山市引野町南の障害福祉サービス事業所「ジョイ・ジョイ・ワーク引野」が、福祉施設を支援している財団法人「松翁会」（東京）から、製品を袋詰めした後、に密閉するシーラー機購入費60万円の助成を受けた。

同事業所では、あんずや保命酒を練り込んだかりんとうを1か月に1000〜2000袋作り、包装も利用者が行っている。これまで使っていた機械は古く、故障が多かったため、同会の助成に応募していた。

松翁会の箱崎一彦事務局長（58）は「購入した機械を使って、作業効率と品質を上げて、発展してほしい」と期待。

利用者の田辺英晃さん（41）は「新しい機械が来て良かった。作るのも楽しくなる」と笑顔だった。

2010年12月19日
読売新聞